

6月定例会

|             |    |
|-------------|----|
| 6月定例会       | 2  |
| 請願          | 4  |
| 大好き尾花沢・一般質問 | 5  |
| 私のひとこと      | 12 |



**（左）古藤拓（ギター奏者）**  
札幌生まれ、福岡育ち。  
2010年より尾花沢地域おこし協力隊に着任。  
2013年3月に地域おこし協力隊を退任。鶴子1年母袋に10年、昨年より正蔵の空き家を購入定住。

**（右）加藤皓平（チェロ奏者）**  
茨城県下館生まれ、埼玉県育ち。  
2016年より尾花沢地域おこし協力隊に着任。  
2018年3月に地域おこし協力隊を退任、市内押切に空き家を購入定住。  
現在、東京室内管弦楽団所属。

すいか  
どんどん

私のひとこと

**①尾花沢すいかを作った感想は**  
農業は健康的で楽しいですが、知れば知るほど難しくなるという奥の深いものです。立派な加藤くんのお腹に負けない西瓜を作るためがんばります！


**②尾花沢に移住して感じる事は**  
「こつじやなきやダメ」だっということが多すぎる気がしています。世代、性別、出身地関係なく多様な価値観を認め合える場所になったらいいなあって思っています。

**③尾花沢の好きなところは**  
おばね暮らし長くてもつよくわかりませ

尾花沢すいか農家  
シンガーソングライター  
(初代 地域おこし協力隊員)

古藤 拓さん  
(正蔵在住)

インタビュー



おばねのうた その先にあなたがいた尾花沢♪

**④尾花沢に移住する方に伝えたいことは**  
今年で尾花沢に移住して12年目になります。いまだに傷つく事もあるし、悩むこともあります。でもそれは何処にいても同じです。そんな中、尾花沢には全部小さなことに思える不思議な力があります。これは尾花沢のひとの力だと僕は思っています。なので、勇気を出して地元の方々と触れ合うことできっと素敵な人生になります。まず色んな人にあなたを知ってもらいましょう！  
ならなかったら、後輩の加藤くんが責任を取ってくれるそうです(笑)。

**⑤今後の抱負は**  
尾花沢のひとたちから頂いた、たくさんの親切や思いやりを、今度は僕が誰かにしてあげられるような農家としても、住民としても成長していきたいです。あんまり長いと「いいがらわ

んが、大大だ〜い好きです！



らわらもらえずっ！”と言われそうなので、この辺で。ご清聴ありがとうございます！これからも未永くよろしく願います。

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

- 発行責任者 議長 青野 隆一  
市議会だより編集委員 委員 長 鈴木 清  
副委員長 委員 長 和野 哲  
委員 星川 薫  
委員 菅野 喜昭  
委員 安井 一義  
委員 鈴木田美子

**あとかき**  
114号からタブレットを活用して原稿作成や連絡、リモートでの編集会議など様々行って作業軽減を進めています。編集室専用のメールに原稿や写真を添付して、外部との編集作業もデジタル化を進めています。「最近おもしろくて、思わず全部読んでます」そんな反応をいつもいただけるよう前進してまいります。  
(塩原未知子)

**表彰**  
全国市議会議長会表彰規程に基づき表彰されました。  
◎議員10年表彰  
青野 隆一 議長  
塩原未知子 副議長

# 生活支援・感染防止

# ・経済回復

6月  
定例会  
2022

## ウイズコロナ補正予算など

## 一般会計 2億509万円を追加

### 尾花沢市原油価格・物価高騰等緊急支援金

新型コロナウイルス感染症の長期化と、コロナ禍における原油価格や物価高騰による多重の影響を受け、経営の継続が困難となっている事業者等に対し、事業の継続を応援するために支援金を交付するもの

5,770万円

宿泊・日帰り旅行がお得に利用できる



### 旅々おばなざわ応援事業

ウイズコロナにおける市民等の旅行を支援しながら、市内の観光業者や小売店等の事業再興と経済の循環を目指す

1,050万円

7月1日号 市報の表紙がクーポン券



### それゆけ お店ごはん事業

飲食店の経営を迅速に支援するため市内全世帯に飲食、出前等に使える割引券を配布

1,550万円



### 放課後児童クラブ 感染防止対策

市内5ヶ所の放課後児童クラブを継続的に開所できるよう感染予防対策を一層強化

826万円

令和4年6月定例会が14日から22日まで開催された。条例改正1件、補正予算2件、さらに住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金などの補正予算が追加提案され、計4議案を原案通り可決。請願2件を採択、同意見書の提出に関する議案2件を可決した。

## 定例会のあらまし

### 5月臨時会

令和4年5月23日

#### ▶令和4年度一般会計補正予算など3議案を可決。

|                                      |         |
|--------------------------------------|---------|
| 低所得子育て世帯生活支援特別給付金<br>(子1人に5万円の給付金支援) | 1,750万円 |
| 新型コロナウイルスワクチン追加接種事業                  | 3,067万円 |
| ロータリ小型除雪車購入契約締結                      | 2,420万円 |
| 凍結防止剤散布車購入契約締結                       | 2,189万円 |

### 4月臨時会

令和4年4月27日

#### ▶令和3年度各会計補正予算など専決処分6件を承認。

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 一般会計 除排雪業務委託料   | 3,500万円 |
| 特別会計 国民健康保険特別会計 | 946万円   |

#### ▶令和4年度一般会計補正予算と条例の一部改正の2議案を可決。

|   |       |
|---|-------|
| 飲食業等緊急支援給付金<br>(新型コロナウイルス禍で影響を受けているすし店や、居酒屋などに対する緊急支援給付金) | 560万円 |
|---|-------|

尾花沢の魅力を伝えるために

# 大好き尾花沢 Vol.5

尾花沢ってどんなところだっけ？

雪がとにかく多くて銀山温泉が有名なイメージ…。

3年前の私には尾花沢市に対してそのようなイメージしか思い浮かびませんでした。

そんな私が銀山温泉の観光案内所の職員として働き始めて3年が経つ頃、この仕事を通して出会った方と結婚し、はれてもとの住まいの村山市から尾花沢市に移り住むこととなりました。まわりの人々の温かさを感じ、銀山温泉の歴史や文化を知るにつれ、どんどん尾花沢市の魅力を感じ、この場所に住んで働きたいなと思ったからです。

銀山温泉は今年に入り、新店舗も続々とオープンし、コロナウイルスによる規制が徐々に緩和してきている今、多くの観光客で賑わいを見せています。以前は海外のお客さままで溢れていましたが、今はほとんど国内のお客さまばかりで、地元の方にもお越しいただく機会がだいぶ増えたように感じています。今後、海外や県外から訪れるお客さまの他、地元の方にも楽しんでいただける観光地になるよう、銀山温泉の魅力をもっと伝えていきたいと思っています。

古瀬有花梨(旧姓：三条)尾花沢市観光物産協会 銀山温泉案内係



○囲み数字が掲載

## 6月定例会 一般質問

どうする！  
どうなる？  
尾花沢  
6人の議員はこう質した



一般質問 1 日目



一般質問 2 日目

録画が見れます

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 和田哲   | ① 北村山地域の広域連携の必要性               |
|       | ② 公共施設等総合管理計画の現状と今後            |
|       | ③ 「働きがい」のある行政運営で支える 市民生活       |
| 星川薫   | ① 尾花沢市都市公園整備計画の策定              |
|       | ② 空き家に対する当局の考え方と対応             |
|       | ③ 海外との姉妹・友好都市締結                |
| 鈴木由美子 | ① これからの保育園運営を考える               |
|       | ② ごみ処理施設の広域連携                  |
|       | ③ 徳良湖周辺既存施設の整備・管理状況と花畑整備       |
|       | ④ 尾花沢市スポーツ推進計画に市民がどのようにかかわれるのか |

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 伊藤浩   | ① 農業を取り巻く問題                      |
|       | ② 改訂版尾花沢市環境基本計画                  |
| 塩原未知子 | ① 尾花沢すいか出荷出発式の開催地                |
|       | ② 大正ロマン次世代エネルギーパークの活性化           |
|       | ③ 雪を眺むる尾花沢・ゼロカーボン宣言のまちづくり        |
|       | ④ アフターコロナ今後の対策                   |
|       | ⑤ 芭蕉十泊のまち尾花沢(本町)に歴史文化の継承保存拠点づくりを |
| 鈴木清   | ① ヤングケアラーの支援をどう行うか               |
|       | ② 保育士等への処遇改善は届いているか              |
|       | ③ ウクライナ避難民の受け入れ                  |

## 請願

### 令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願

令和4年請願第2号

#### 《趣旨》

主食用米からの転作を促すため農家に支払ってきた「水田活用の直接支払交付金」について、令和4年(8年度)までの5年間のうちに、一度も水張り、水稲作付が行われない農地は、令和9年度以降に交付対象水田としない見直しを示されたことにより、交付対象から除外される農地が出ることで農地の維持が困難となり、ひいては、耕作放棄地や離農者の増加につながる懸念される。また、多年生作物に対する戦略作物助成の単価見直しについては、現在、海外からの輸入乾牧草も高騰している状況が続いているなかで、令和4年度からの運用はあまりにも急であり、現場においても混乱をきたしている状況にある。以上のことから、本案件については、交付金の交付対象水田を畑地化した場合であっても、畑作物等の生産の維持・拡大が図られるよう、日本型直接支払制度やゲタ対策をはじめとした関連施策の拡充や、多面的機能の維持と環境保全に向けた、営農計画等への影響を緩和する対策を講じることについて、国に対し、意見書の提出をお願いしたい。

1 交付対象水田を畑地化した場合であっても、需要のある畑作物等

の生産の維持・拡大に向け、中山間地域等直接支払等の日本型直接支払制度やゲタ対策をはじめとした関連施策の現状維持はもとより、さらに拡充していただきたい。

2 多年生作物の交付金が削減された場合、賃借料や土地改良水利費の負担が大きくなり、賃借借契約の継続にも影響を及ぼすことから多面的機能の維持と環境保全に向けて、営農計画等への影響を緩和する対策を講じていただきたい。

#### 請願者

みちのく村山農業協同組合

代表理事 三浦 康彦

#### ● 紹介議員

鈴木 裕雅

#### ● 付託委員会

産業厚生常任委員会

#### 委員からの意見

○苦勞して水田を畑地に改良し、経営が成り立つよう取り組んできた農家にとつて、ほかの水田を畑地化しなければならぬこの度の見直しは、到底理解できないものではなく、現場の実情に即した他の形での支援を求めるといふ本請願の趣旨に賛同する。

○本請願で求めるところの、直接支払交付金の現状維持、更には拡充については、制度の見直しにより多大な影響を受け、また対応できない農家が増加することも懸念され、本市の農業全般に関係してくる問題でもあることから、願意妥当である。

## 満場一致で採択

令和4年請願第3号

### 「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願

#### 《趣旨》

コロナ禍や、ロシアのウクライナ侵略により物価上昇など日本経済に大きな影響を与える中、令和5年10月からインボイス制度、適格請求書等保存方式が実施されようとしており、制度が実施されれば、中小事業者やフリーランスの消費税負担や事務の増加につながり、コロナ禍からの再起を図ろうとする事業者の重い足かせとなることから、消費税インボイス制度の実施中止を求め、政府に意見書の提出をお願いしたい。

#### 《請願事項》

1 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を採択し、政府に送付していただくこと。

#### ● 請願者

北村山民主商工会

#### ● 紹介議員

伊藤 浩

#### ● 付託委員会

総務文教常任委員会

委員からの意見

○尾花沢市内には、中小企業、小売店、小さな農家など免税事業者が多く、この制度が実施されれば、経済的な活動に対してマイナスになり廃業になることも心配される。また、1,000万円以上の業者にとつても取引業者の経理、税の取り扱いの問題がある。登録しな

い方とこれ以上取引しないなどということも出てくるのではないかと、尾花沢市の商業、工業、経済などに對する影響は非常に大きいことから、願意妥当である。

○税理士団体は基本的に延期を求めている。尾花沢には個人の職人が多いが、大手から使われる個人の職人がインボイス制度を登録すれば税金を納めなければならぬ、かなり負担がある。また、登録している人、していない人で差がでることから、移行期間として長い目で見ないといけない。

○1,000万円以下の免税事業者に該当するのかが該当しないのかは、売り上げによって決まる。コロナ禍で売り上げが少なくなってきた現在の現状でこれを強行すると消費税を納めなければならなくなる。また、事務負担がかなり増えてくるため、コロナ禍を脱し、経済が安定するような時期になるまでまだ少し待つべきと思われることから、請願の採択については妥当だ。日本全体を考えると1,000万円以上の事業者はしっかり消費税を払っている。公平に税金をいた

## 満場一致で採択



# 水田活用の直接支払交付金の継続を!!

## 市長…県市長会、東北市長会でも国に要望していく



伊藤 浩 議員

**問** 今年度の水稲作付実  
施計画がまとまった  
段階と思うが、その概要に  
ついてどう推察しているか。

**答** 6月1日現在で、主  
食用米の作付面積は  
前年度と大きな変化はない。  
米の消費量が減っている中  
で、農家の皆さんからは最  
大限の協力をして頂いてい  
ると考える。

**問** 国の「水田活用の直  
接支払い交付金」の  
大幅な見直しが行われてい  
るが、中山間地の水田が多  
い当市にとっては、非常に  
大きな問題と考える。市と  
してどう考え、どう対応し  
ようとしているのか。

**答** 今回示されている内  
容で、特に今後5年  
間で、転作水田を水田に戻

せなければ、交付対象水田  
から除外することとしてい  
るが、山間部の転作水田の  
導水路再整備等を考慮する  
と、復田には多くの経費と  
労力が必要となる。このた  
めこれを契機に離農を考え  
る方が出てくるなど、本市  
の農業に対する影響は、計  
り知れないものになると考  
えている。このため、市の  
重要事業においてこみ、山形  
県市長会、さらには東北市  
長会においても国に対する  
重要事業として取り組んで  
いく。

**問** 2年目となる「地域  
ぐるみによる鳥獣被  
害防止対策事業」をどう進  
めていくのか。

**答** 昨年モデル的にスタ  
ートした5地区に加



転作水田

**問** 改訂版環境基本計画  
ゼロカーボン宣言か  
ら一年が経過し、こ

え、新たに5地区が体制整  
備を進めている。この事業  
に取り組む事で住民一人ひ  
とりの被害防止の意識が向  
上し、地域コミュニティが  
活性化されると考えている。

**問** の度改訂版の環境基本計画  
が公表されたが、今後の取  
り組みをどう進めるのか。  
また、市民の皆さん方の取  
り組みが最も重要と考える  
が、具体的な取り組みをど  
う展開していくのか。

**答** R13年度までの計画  
となるが、特に地球  
温暖化防止活動、再生可能  
エネルギーの活用など、持  
続可能なゼロカーボン意識  
を新しいライフスタイルへ  
転換できるように進めてい  
きたい。市民の皆さんには、  
環境基本計画概要版の全戸  
配布や環境セミナーの開催  
などを通じて説明をしてい  
くが、誰でもできるような  
簡単な取り組みをベースに  
活動を展開していきたい。

農地は生きている。  
右から左に動かせる物  
ではない。慎重な農業  
政策を展開すべき!!



つぶやき…

# これからの保育園運営をどうするのか

## 市長…関係者の声をお聴きしながら検討を進める



鈴木由美子 議員

**問** 出生数の減少が著し  
い。民間は児童数で  
交付金額が決まり、人件費  
や施設管理費などすべて賄  
っており経営が厳しい。ま  
た保育環境のみならず、多  
くの女性の雇用の場として  
の役目も担っていることか  
ら、再編に向けた協議を早  
急に進めなければならぬ  
のではないか。

**答** R3年度時点の本町  
地区3園の利用定員  
380名に対し、入所児童数は  
262名。大きく定員割れとな  
っておりさらに減少が見込  
まれ、分散入所で公立と民  
間が競合し合う状況になる  
と考えられる。検討委員会  
の提言も重く受け止め、役  
割を明確にすることで双方  
の安定的な雇用を維持し、

質の高い保育サービスを確  
保していく。

**こみ処理施設の広域連携**

**問** 北村山公立病院の建  
て替えや消防の指令  
センターの広域的な取り組  
みがあるが、こみ処理施設  
の広域連携についても、積  
極的に取り組む必要がある  
のではないか。

**答** 近年の急激な人口減  
まると、1市1町だけで  
は解決が難しい課題も考え  
られる。新たな広域連携の  
検討も必要になる場合もあ  
ると捉えている。

**徳良湖周辺既存施設の整  
備・管理状況と花畑整備**

**問** 既存の設備の修繕や  
草刈り、桜の木など  
を維持管理し、公園として  
常に景観を保つことが基本  
ではないかという市民の声  
がある。今後花畑として規  
模拡大した時の管理体制や、  
公園がもたらす経済効果と  
は何か具体的な考えを伺い  
たい。

**答** 維持管理の費用や管  
理体制については常



徳良湖周辺の壊れた擬木

任委員会でも示していく。ま  
た市内での滞在時間が伸び  
ることにより、飲食店や宿  
泊客の増加による経済効果  
が期待される。

**尾花沢市スポーツ推進  
計画に市民がどのよう  
にかかわれるのか**

**問** 基本方針、「スポー  
ツ環境の整備と地域  
活性化の推進、主体的に参  
画する団体の育成」とは何  
か。現状は計画に逆行して  
いないか。計画達成をどの  
ようにしていくのか。

**答** 新しいスポーツや新  
たに運動を始める  
方々への受け入れ体制の整  
備を図っていく。

市民生活に直結  
する事を最優先  
で考えるべき!!



つぶやき…

# 大正ロマン再生可能エネルギーパークで交流人口拡大を

## 市長…観光交流受け入れ態勢を整えたい

### 再エネで活性化

**問** エネルギーパークを利用して積極的に地元企業の活性化とグリーン産業企業誘致を行い今後の対策を講じてはどうか。花笠の湯と御所乃湯は燃料高騰時、市で高騰分を補填している。今後5年間の想定はどうか。また、耐用年数を超えて使用している重油ボイラー基だけでは心配だ。

**答** R3年度で花笠の湯(約182万)を補填。高騰がいつまで続くか見えないため、今後の試算は難しい。環境基本計画も改訂した。他市町村を参考にバイオマスボイラーなどの再エネ活用も検討していく。

### 雪を眺める尾花沢ゼロカーボン宣言

**問** ここ10年本市の排雪費の推移はどうか。春には無くなる雪、排雪費用の抑制する研究、空き地を有効的に活用するなどゼロカーボンシティのまちづくりを推進してはどうか。



除雪の雪を利用した雪蔵

**答** R3年度は除排雪費が過去最大。雪押場は約千400箇所。大雪と間口除雪のため近年は2億円ほどで、10年前の2倍以上。今年改訂された環境基本計画や都市計画マスタープランにある「無雪化住宅」無

### 芭蕉十泊の歴史文化のまちづくり

**問** 銀山温泉・徳良湖・本町へ交流の良い流れをつなぐため芭蕉、清風歴史資料館を中心に本町に「家並み条例」を策定し、花笠踊り・花笠音頭資料館と尾花沢地区中央公民館リニューアルと合わせ歴史文化のまちづくりを再構築すべき時期ではないか。

**答** 市街地の統一的な建物の意匠や、中央通り線、桮新町線沿いの電線地中化も含め先進地を参考に考えていく。複合的な事

### 尾花沢すいか出発式開催

**問** 尾花沢すいか出発式は大石田町からではなく、市内から行えないのか。また長年の栽培技術と産地形成の歴史と記録をインターネットやSNSで公表すべきではないか。

**答** 今年は東部選果場だ。広域合併しみちのく村山農業協同組合が設立されたH7年以降主催者が決めている。H26年に「すいかものがたり(著:尾花沢市スイカ研究会)」が発刊されている。機会をとらえ周知していく。



しおばらみちこ 議員

豪雪の尾花沢「雪と温泉で発電」高校生の探究で実現したいな。



つばき…

# ヤングケアラーの実態調査をすべきでは

## 教育委員会…昨年度、小中学校の把握では本市は0人と報告

### ヤングケアラーの支援をどう行うか

**問** 厚生労働省による「ヤングケアラーの全国調査」の発表は、大きな驚きと反響を呼んでいる。どのような支援が必要か、まずは、実態を調査し子ども達の声を聞く所から始めるべきではないか。

**答** ヤングケアラーとは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないうえ、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」と定義されている。昨年度、児童生徒へ聞き取りせずに、学校把握の実

### 保育士等への処遇改善は届いているか

**問** コロナ禍の中、保育は社会を支える大切なエッセンスシナルワークであると認識されたが、一方で全産業平均賃金と比べ、月9万円以上の差がある。処遇改善として、2月から保育士等の収入を3%(月額9,000円)引き上げるとした国の保育士等処遇改善臨時特例事業が3月定例会で決定したが、満額が

**答** 保育所の運営は、国が決定する公定価格を基とした給付費で行われており、保育士の賃金はその運営費の中から充てられるため、他業種と比較して一般的に低いと言われている。3%程度の引き上げの国の方針を受け、市内2法人を対象に処遇改善を行なった。大きな一歩だと捉えているが、いまだ他業種より低いようであり、保育士の安定的な確保と質の高い保育環境を維持するために、処遇改善の取り組みは継続していかねばならないと考えている。

### ウクライナ避難民の受け入れ

**問** ロシアによるウクライナへの侵攻が続く中、県へ、本市が受け入れを希望すると手を挙げた事は高く評価したい。受け入れる意義は何か。何人位想定し、どんな準備を行っている。課題は何と捉えているか。

**答** ウクライナ避難民受け入れには、「人道支援」という大きな意義があり、積極的に進めたい。現在、市営住宅など住環境提供の準備を進めており、最大10世帯程度の受け入れが可能。県と国際交流協会の協力を得ながら、言葉の壁や心のケアなど様々な課題解決に努めたい。



すぎききよし 議員

ヤングケアラーは「はずかしくて自分から言えないけど、先生に話を聞いてほしい」と願っています。



つばき…